

Come HIA

[カムヒア]

Hyogo International Association

多文化
共生の窓



HIAは 日本語教室の活動を 応援しています!



HIA外国人県民対象日本語講座

兵庫県では41市町全てに日本語教室が開設され、現在、ボランティア団体や市町国際交流協会の主催する約100の教室が活動しています。教室は、日本語学習の場、居心地のよい居場所であるだけでなく、外国人住民と日本人ボランティアが互いの文化に触れ、理解を深めることのできる場でもあり、多文化共生社会づくりの最前線として大きな役割を担っています。

HIAは、初級日本語講座を開講し、そのノウハウを基に各地で研修会を実施したり、教室運営について意見交換する場を設けたりする他、県内の日本語教室と協力して、外国人住民の日本語学習や地域社会との交流活動を支援しています。

外国人住民が県内のどこでも、生活に必要な日本語を学び、地域社会に参加していくことができるような体制作りを目指して取組みを進めています。



生活に必要な漢字を身の回りのものを使って学ぶ



暮らしにすぐに役立つ
日本語教科書(5言語)



地域で活躍する日本語支援ボランティアの皆さんが
集まる研修会



教室のメンバーで練習した
「スコープ三味線」をステージで披露(多可町)

日本語教室に関するお問い合わせ HIA多文化共生課 TEL 078-230-3261

発行問合せ / (公財) 兵庫県国際交流協会

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-1 国際健康開発センタービル 2F

TEL 078-230-3260 FAX 078-230-3280 URL <http://www.hyogo-ip.or.jp/>

Hyogo International Association

International Health Development Center, 2nd Floor, 1-5-1 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe, Hyogo 651-0073 JAPAN



多文化 共生の窓



地域日本語教室の活動を考える機会として

1

1月26日(土)

「外国につながる子どもへの
日本語・学習支援を考える研修会」を開催

「外国につながる子どもの発達障がいはどうとらえるか」をテーマに、清長豊氏を講師に招き、さまざまな事例をあげてお話しいただきました。日本語支援者や学校関係者などおよそ90名の方が参加しました。

発達障がいとは生まれつき脳の成長の遅さや早さ、認知のバランスの悪さから生じる「うまくなることの障がい」であり、現場ですべきことは、ことばの問題か発達の問題かを判断することではなく、その子の特性を知り、寄り添うことだと多くの事例とともに示されました。

発達障がいを持つ子どもたちが苦手を感じることや、周りができる柔軟なサポートの例が具体的に紹介され、現場ですぐに役立てられると感じました。

研修会終了後も質問者が後を絶たず、大変有意義な研修となりました。



清長豊氏 (NPO法人アジャスト代表理事、療育指導員、犬山市学習支援コンサルタント)



多くの方が参加。熱心に聞き入る

多文化 共生の窓



地域日本語教室の活動を考える機会として

2

2月2日(土)

「地域に根ざした日本語支援を考える研修会」を開催



萬浪絵理氏
(＜公財＞千葉市国際交流協会委嘱地域日本語教育コーディネーター)



千葉市で日本語教育コーディネーターとしてご活躍の萬浪(まんなみ)絵理氏を講師に招き、「日本語学習と相互理解の両立をめざす教室活動」をテーマに研修会を開催しました。

ペアワーク、グループワークを多く取り入れたわかりやすく実践的な研修となりました。学習者が自分で話すのをよく聴き、じっくり待つこと、そして聴いた後にフィードバックをすることが大切だと実感できました。

会場からは「日本語学習に重点をおきがちななるが、相互理解が最終目標であると改めて認識できた」「すぐに実践できるヒントがたくさんあった」といった声が多く聞かれました。ワークによって参加者同士の情報共有や意見交換が進み、教室の枠を越えて交流する貴重な機会ともなりました。



ワークを通して活動への理解や交流が深まる

pickup

1

ひょうご海外研修員が来県しました!

今年度から兵庫県の海外事務所長の推薦で、友好・姉妹州省から現地キーパーソンをひょうご海外研修員として招聘し、兵庫県の先端技術、ものづくり、伝統産業、食や観光などを体験し、将来に向けて強力な兵庫サポーターとなってもらうための研修プログラムを始めました。

今年度は、米国ワシントン州オリンピア市のシェリル・セルビー市長ほか、ドイツ、オーストラリア、中国、ブラジル等5カ国の州省からキーパーソンを1月27日から2月3日までの約1週間、受け入れました。

参加者は、兵庫県の文化・産業等に関する講義を受講した後、神戸市内の企業や豊岡市内の地場産業である靴の製造企業を訪問し、人と防災未来センター、理化学研究所「京」コンピューター、生命機能科学研究センター、大型放射光施設SPring-8・SACLA等の県内先端科学施設を訪問したほか、姫路城、城崎温泉街等観光名所を視察しました。

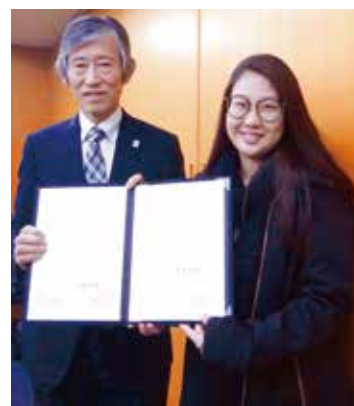
研修員5人とも研修を終える際には、「母国と兵庫県との架け橋となり、互いの友好関係をより一層促進したい」、「兵庫県に家族や友人と再び訪問したい」と今後の抱負を述べました。



ひょうご海外研修員による高井理事長表敬の様子



人と防災未来センターにて実験参加の様子



研修修了証書授与の様子

pickup

2

[HAT神戸連携防災イベント]

イザ! 美かえる大キャラバン! 2019



兵庫県の姉妹州省は覚えられたかな?



英語で“避難所”は何て言う?

阪神・淡路大震災の記憶と、そこから得られた教訓を次世代の子どもたちに伝えるHAT神戸連携防災イベント「イザ! 美かえる大キャラバン! 2019」が1月27日(日)にJICA関西及び人と防災未来センターで開催されました。

今年で10周年を迎えた当イベントでは、大人を対象とした「BOSAIリレー講座」や見て学ぶ「BOSAI展示」、身の回りのものを活用して災害時の困難を乗り越える

「BOSAI図工室」などの特別企画が催され、たくさんの人が訪れました。

HIAは、1月15日(火)～25日(金)の平日に“本の森でカエルを探そうゲーム”をひょうご国際プラザで開催し、当日は、参加者とオーストラリア出身の国際交流員が“英語で学ぶ防災ビンゴ”や“国旗ゲーム”を一緒に楽しみました。



本の森に隠れたカエルはどこかな?

東播磨地域 意見交換会

12月5日(水)に東播磨地域意見交換会が開催されました。事前に提出された議題・回答をもとに、意見交換・情報共有が行われました。「増加する日本語学習者への対応」「イベントの集客方法」などについて意見交換しました。その内容から、団体間で協力して事業に取り組んでいる印象を受けました。また、会員募集についてユニークな取り組みが紹介されるなど、今後の事業の進め方のヒントが得られたことと思います。



活発な意見交換がなされました

西播磨地域 意見交換会



井上事務局長による講演

2月8日(金)に、西播磨地域意見交換会が開催されました。まず、(公財)京都市国際交流協会の井上事務局長から「京都市国際交流協会の災害時外国人支援」の取り組みを中心に、国際交流協会が取り組むべきポイントを講演いただきました。行政からの出席者もあり、今後の行政と協会の連携のあり方について考えるきっかけになったと思います。その後、会員による意見交換会が実施されました。

第2回 多言語通訳 ボランティア研修

2月3日(日)に姫路城近くの施設イーグレひめじで、今年度2回目の「多言語通訳ボランティア研修」を、姫路市文化国際交流財団との共催で実施しました。実践編となる今回は、HIAや県内の市町国際交流協会に登録されている通訳ボランティア等、約40名が参加しました。

講師の水野真木子氏(金城学院大学教授)から「コミュニティ通訳」の重要性や通訳者としての倫理などについて講義を受け、学校の保護者面談や区役所での転入手続などを想定したロールプレイを行いました。

参加者からは「スキルアップの方法を学べてよかった」という感想や、今後も継続して研修会の実施を希望する声が多く寄せられました。



通訳者としての心構えについて、水野先生の話を聞きます



金城学院大学教授 水野真木子氏



実際の状況を想定した通訳に挑戦中(ロールプレイ)



草の根国際交流



ハンガリー食文化交流教室

1月24日(木)、日本・ハンガリー外交関係開設150周年を記念して、ハンガリー食文化交流教室を神戸倶楽部で開催しました。関西ハンガリー交流協会・向山毅会長と向山和子理事を講師にお招きし、音楽や温泉、刺繍などハンガリーが誇る文化の紹介や、ハンガリーの肉料理やスイーツ、お酒などについて、詳しくお話をいただきました。

会には約50名が参加し、ハンガリー料理で最も有名な、牛肉と野菜の煮込みスープ「グイヤーシュ」、チキンをパプリカで煮込んだ「パプリカ・チルケ」、チョコレートソースをたっぷりかけたクレープ「グンデル・パラチンタ」を堪能しました。

クンシャグ地方産の赤ワイン「オーロラ・キュヴェ」の試飲も行われ、普段なかなか口にする事のないハンガリー料理を、伝統的なロマ(ジプシー)音楽を聞きながら心行くまで楽しみました。

※Finom=ハンガリー語で“美味しい”



講師の向山夫妻。和子理事はハンガリー刺繍の衣装を身に着けています



充実した内容の講話と料理で有意義な時間を過ごしました



パプリカ・チルケ



グンデル・パラチンタ

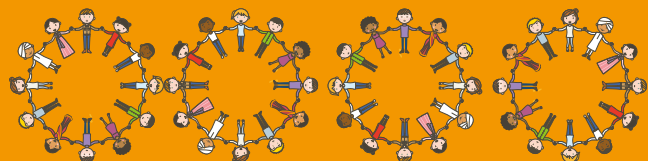


グイヤーシュ





News



交流の集い 2019



金澤副知事による来賓挨拶



司会を務めたCIRのカイさんとフラワープリンセスの稲留さん



歓談の様子



オランダ総領事による乾杯挨拶



シャンソンを披露する小関ミオさん

3月16日(土)に神戸倶楽部にて「交流の集い 2019」を開催しました。HIA友の会会員をはじめ、関西領事団や外国人コミュニティー、国際交流団体の関係者など約140人が参加しました。

HIA友の会前田会長による開会の挨拶の後、金澤副知事が来賓を代表して祝辞を述べました。続いて、オランダ総領事が乾杯の音頭をとり、和やかに歓談・食事がスタートしました。ステージでは、シャンソン歌手の小関ミオさんが日・仏・英語を織り交ぜた曲を披露し、ギターを伴奏にしっかりと歌い上げました。締めには、4人組の女性バンド「サクソフォンカルテット・コパン」が、サクスを演奏しながら各テーブルからステージへと遊歩し、パワフルで色彩豊かな音楽で参加者を惹きつけました。閉会の挨拶では、HIA高井理事長が兵庫県の国際交流を一層深めていきたいと大盛会となった集いを締めくくりました。



力強い演奏で会場を盛り上げた「サクソフォンカルテット・コパン」



様々な交流が行われました



シアトル



アメリカ

数年後の日本の教育現場?

米国ワシントン州シアトル近郊には皆さ
んで存知のマイクロソフトやアマゾンの本
社が立地しています。そのため、シアトル近
郊にはIT系技術者が多く在住しており、街中
のカフェや通勤バスの中でノートパソコンを
広げ、プログラム開発をしている姿がよく見
られます。彼らの初任給は年収1,000万円を
超えるようでシアトル圏域の経済成長を牽
引しています。

さて、そのようなシアトル近郊では教育現
場でもIT技術が多く活用されています。学区
によりますが、小学校では授業においてゲー
ム感覚で利用できるソフトウェアが利用され
ています。算数の授業では生徒全員にタブ

レット端末が配布され、主人公が敵から出さ
れる算数問題を解きながらゲームをクリアし
ていきます。また、学校の入学手続きは全て
インターネットで行っており、子どもの成績
確認や出席状況確認もインターネットで行
うことが可能です。



Prodigyという算数ゲームの一面

日本では、2020年より小学校にプログラ
ミング教育が導入される予定となっている
など、教育現場とIT技術の関わりが深くなっ
ていくと思われますが、現在のシアトル近郊
の教育現場が日本の数年後の姿なのかも
しれません。



敵から出される算数問題を解いて敵を倒していく



ひょうごの仲間たち～

ふくさき日本語サロン(福崎町)

—アットホームなサロンを目指して—



多国籍のサロンはいつも和気藹々!



ボランティアさんが熱心に教えてくれます



どのグループも皆、真剣です

「おはようございます!」元気な挨拶の声と
ともに始まった日曜朝の日本語教室。

冬晴れのある日、HIAが「外国人県民・児童
生徒の居場所づくり事業」により支援してい
る団体の一つ、「ふくさき日本語サロン」を取
材しました。

福崎町にある「ふくさき日本語ボランティ
アの会」主催の「ふくさき日本語サロン」は平
成26年に開設され、今年で設立5年目となり
ます。もともとは福崎町に在住の外国人を対
象とした日本語教室でしたが、この数年、特
にベトナムやインドネシアからの技能実習
生が増え、必然的に学習者もそういった実習

生が増えたとのこと。

「企業のためのサロンであってはならな
い。しかし、外国の方一人ひとりのサロンに
来たいとの思いには応えたい」。事務局の方
は力を込めて語ってくれました。思いを同じ
くするボランティアの皆さんと、サロンは毎月
2回、日曜日に学習者の日本語のレベルに応
じてグループを編成して開催されます。要望
に応じて、日本語能力試験の試験対策も行っ
ています。学習者一人ひとりのカルテを作る
など、ボランティアの皆さんの熱意あふれる
試行錯誤ときめ細やかな工夫により、現在で
はサロンに登録されている学習者も延べ80

名を越え、教室が満席になることも。この日、
取材した学習者の皆さんが口々に「サロンに
来るのが楽しみ」「日本語の勉強が楽しい」と
話す笑顔が印象的でした。

すでに福崎町での外国人の「あたたかい居
場所」になっている「ふくさき日本語サロン」。
その活動は今後さらに広がっていくことによ
う。

「ふくさき日本語サロン」では、地域の外国
人の増加に伴い、引き続き、日本語学習を支
援するボランティアの方を募集しています。

●ふくさき日本語ボランティアの会
(福崎町文化センター内)
TEL 0790-22-3755 FAX 0790-22-2561



にっぽん一大使たちの視線写真展2018

2018年11月27日(火)から2019年1月10日(木)まで、ひょうご国際プラザ交流ギャラリーにて、「にっぽん一大使たちの視線写真展2018」を開催しました。

第21回を迎える今年は「Japan transforming」をテーマに、45カ国67名の外交官とその家族の視線で切り取った「にっぽんの今」が紹介されました。

開催初日には、元スイス総領事のダニエル・ペ・アヴィオラさんの熱意あふれる開催あいさつに始まり、展覧会ディレクターである安部忍さんをセミナー講師に迎え、本展の見所や特徴的な作品の解説などのお話をいただきました。

会期中は多くの人が訪れ、ユニークな視点から捉えた日本を楽しむことができました。



写真展会場の様子



セミナーの様子

台湾国立彰化女子高級中學と 兵庫県立姫路西高等学校の交流

兵庫県では、授業・部活動体験や交流活動等を通して、自国の文化を紹介し合い、相互理解を深める学校交流を積極的に推進しています。台湾、韓国、中国などの近隣国をはじめ、インド、インドネシア、など様々な地域からの高校の修学旅行団、視察団、小学生や中学生の訪問団の受入れを行っています。

1月23日(水)には、台湾国立彰化女子高級中學84名(生徒77名、教員等7名)が兵庫県立姫路西高等学校を訪問し、学校交流を行いました。グループに分かれて英語を使って羽子板、剣玉、百人一首、福笑い等の昔遊びを体験しました。また、台湾に伝わる少数民族の昔話の劇や日本の琴の演奏が披露されるなど、異文化理解の貴重な体験になりました。



部活中の生徒達と記念撮影



台湾少数民族に伝わる昔話の劇



ギター・マンドリン部見学

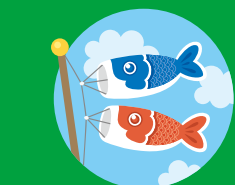
2019 HIA イベントカレンダー(予定) (変更になる場合もありますので、ホームページで確認してください。)

4月

◎外国人県民対象
日本語講座
受講者募集

◎[プラザ図書展示]
外国語の絵本を
読んでみよう

5月



◎[プラザ図書展示]
フィンランド特集

6月

◎ひょうご国際交流団体
連絡協議会総会

◎[プラザ図書展示]
色んな世界一

7月

◎すぐに役立つ
日本語講座受講者募集
◎兵庫EUセミナー
「駐日リトアニア大使講演会」
◎パネル展示(仮)
◎[プラザ図書展示]
フランス特集

8月

◎友好提携50周年記念
ハバロフスク県民交流団
(予定)
◎パネル展示(仮)
◎[プラザ図書展示]
世界のお祭り

イベントに参加したい! もっと知りたい!



県内の国際交流(多文化共生・教育・文化)に
関する最新イベント等の情報を、
月2回配信中!※多言語での配信あり

ひょうご国際交流メールマガジン

検索・登録はココから

<http://www.hyogo-ip.or.jp>

HIA

検索

登録無料



HIAのHPがリニューアルしました!